

獨立第三年の課題

常磐地區の綜合開發

前年の禍を
福と成さん 地方事務所長 若月可直

我國は獨立後三年目を迎へて本年は獨立の偉業を達成する爲に大いに頑張らなければならぬ年である。縣政の問題として、只見川電源開發方式が昨年決定し、目下晝夜兼行で突貫工事の進捗が速い。只見川の發電については前途に明るい見通しがついてきた。この次の大問題は資源開發、工場誘致である。ここに於て常磐地方は電力の雄國的大需要地として各方面から注目され、現に教工場が建設される事に決定し、

本年中には工場が完成する豫定であるから地方として喜ばしい年である。更に水利の問題も小名浜港や道路の問題も、事も相当の前進を遂げ、常磐地方の綜合開發は前途洋々たるものがある。

次に本年の課題として重要な問題に町村合併がある。我國は新憲法の精神に則り「人民の爲にする人民の政治」といふ民主主義の理想をそのまゝに地方自治体の活動が専ら地方住民の總意に基いて自由に行はれる仕組を確立して、町村合併は通過し、町村の民主化は地方自治の精神に依つて着々實現せられて居るけれども其の完遂を期することは、未だ遠いものがある。これに思はれる、これは我國の自治体の運営は長い間「知らしむべし」といふ所謂非民主主義の運営であつたばかりでなく、自治体と言つてもそれは國の地方行政官廳といふ面が多くて、町村事務の

青年の情熱注ぎ

努力と忍耐で押切ろう

わが國が敗戦國となつたその瞬間から、我々は新しい平和の日本、文化の日本を築くために力を合はせる事を誓つたのであります。

事實そのために努力し働いた人々の中には、自ら進んで離れ島の邊地教師に飛び込んで孤島の父と尊敬されている教師もあり、賢く心に當つた盲目の戦傷兵が、村に自家発電の装置をし、近隣村民に光を與えて農村電化の先鞭をつけた人もあります。

小さいながらも此のよう日本の處どころから、ささやかながら文化の花を咲かし始めたことはわれわれを明るくし努力への氣持を益々堅くする勵げまじとなつたのであります。

一枚の繪をとるべき現在の青年男女は、果して平和日本建設のために努力

平和日本建設へ

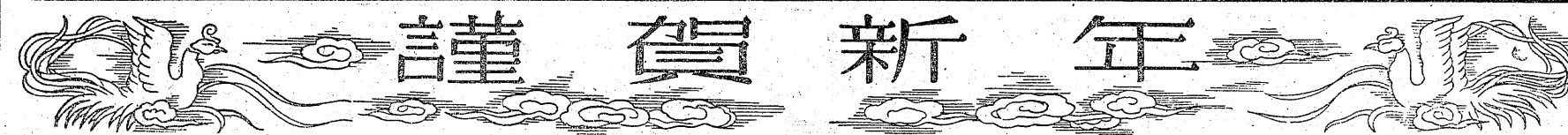
助 意 決 の 春 新

良 垣 板 高 工 平

△△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△

でも國家の委任事務が多過ぎて、國の委任事務は少なかつた爲に住民の地方自治に對する感心の薄かつたことも一つの原因であると思ふ。然しながらその最も大なる原因は、地方自治法の精神が一般人に浸透して居ない結果だと思ふ。ここに自治体の振はない原因がある、更に従來の町村は戸数、人口も少く行政面に於ても、財政力に於ても乏しい爲、住民の福祉を増進する健全な施設を積極的に行ふことは困難であつた。爲町村の合併問題が、今日大きくクローズアップされて來た、この爲に町村合併促進法が制定され、國に於ても、縣に於ても本年は特別力を入れることになつたのである。

昨年を禍を變じて福とし、



| | | | | | |
|---|---|--|---|--|---|
| <p>小名濱町役場</p> <p>町長 水野政次郎 助役 長瀬國三郎 収入役 野崎昇太郎</p> | <p>小名濱町議會</p> <p>議長 馬 上 義一 副議長 西丸 猛 議員 飯塚新四郎、菅原 勳、木田 谷平、飯塚 勝、藤社 大、飯田 宗秋、長瀬 啓一、鈴木 一七、橋本佐多壽、小野 務平、石井 幸平、野崎 貞行、小野 誠吾、小野直千賀、金澤 勉、立花 秀吉</p> | <p>小名濱町教育委員會</p> <p>委員長 菅原 貞 副委員長 佐藤 貞 委員 黒田 昇、藤松 昇、澤田 昇、松田 昇、藤松 昇、澤田 昇</p> | <p>小名濱町消防團</p> <p>團長 志賀 要平 副團長 樋口 二郎</p> | <p>小名濱町消防署</p> <p>署長 御代亀太郎 次長 田中 勝栄</p> | <p>縣會議員</p> <p>衛生常任委員長 小野義一 文教委員長 齋藤 晃</p> |
|---|---|--|---|--|---|

| | | | | | | |
|--|--|-------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <p>小名濱漁業協同組合</p> <p>組合長 三 代 義 勝 理事 野崎貞行、馬 上 庄治、比 佐政種、小野源石衛門、齋藤誠吾、水野良吉、瀧谷岩夫、吉田吉之助、草野増太郎、藤田充男、田中常太郎 監事 草野増太郎、藤田充男、田中常太郎 主事 小野 田 一 基 外 職 員 一 同 基 電話 三五番組合長室、總務、經理、三五番庶務、船舶、當直、三八〇番水、冷蔵、凍、部</p> | <p>小名濱網漁業協同組合</p> <p>組合長 田 島 繁 夫 電話代表六一五番 冷凍製氷工場 電話 五九一 番</p> | <p>小名濱町内 校長會</p> | <p>小名濱郵便局</p> <p>局長 佐藤 幸助</p> | <p>小名濱電報電話局</p> <p>局長 新妻 新量</p> | <p>住吉郵便局</p> <p>局長 鈴木 一平</p> | <p>走熊郵便局</p> <p>局長 鈴木 孝親</p> |
|--|--|-------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|

| | | | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|------------------------|---|---|
| <p>小名濱町商工會</p> <p>會長 草野 庄平 專務 飯塚 勝</p> | <p>小名濱農業協同組合</p> <p>組合長 長瀬 誠明 副組合長 村上 重一</p> | <p>玉川農業協同組合</p> <p>組合長 駒木 根忠三 電話 三三四 番</p> | <p>小名濱醫師團</p> <p>名 杏 會</p> | <p>小名濱齒科醫師班</p> | <p>東北電力</p> <p>小名濱營業所 所長 安田 久藏</p> | <p>小名濱町金融團</p> <p>東邦銀行小名濱支店 七十七銀行小名濱支店 常陽銀行小名濱支店 小名濱 信用 金庫 福島相互銀行小名濱支店 大東相互銀行小名濱支店</p> |
|---|---|---|-----------------------------------|------------------------|---|---|

ソウと春風をよぶ駒々

教師も買う馬券

教育的馬目善親氏



東洋大学専門部で倫理學、東洋文學を修めた。教育論は自家隨中一たびこの駒さ」との人氣あり

馬、馬と一馬を追つかけてやつと撮えたのが純江名産のこの御仁、東部に進んでサラブレッド種を造らなかつた堅さが今日の教育長の椅子を占めたテンマツ、この馬明治三十九年の丙午と意氣込むが至極忠實な馬らしく鞭を入れなくとも人間の呼吸は心得て走ると専らの際さて、本命年の抱負はとさげば、仕事の事ばかりで一切空

先生と呼ばれる

程に馬鹿でな

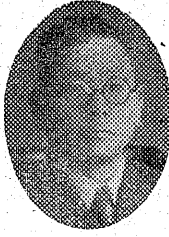
木田谷と云う名の駿馬



木田谷平と云うアブ藤的な名前を記した御仁これぞ通稱「木田谷」で通る午年生れの四十九もとは云えば小学校の教員上り、人相学上から「子日く」なぞと退職恩給をアテに二十年三十年「先生と云われ程の馬鹿」で暮らせる

堅實一路の駒なれば

町議も三期 金澤さん



一氣に草原を駆け抜ける駿馬ではありません、朽ちた橋は避けて通り深い溝は迂迴して、コック健康な歩みを續ける馬、それが小名浜町議金澤さんの性格

新春の草原に起つ

世紀の駄馬

磐日 比佐不二夫記者



昭和七年、藤原川出張が縁となり、小名浜を臺場と決めて四ツ組組んだ人生双六、一、二、三期と町議を續ける確実な聲援街道をゆく姿が、取りも直さず金澤駒の歩む姿というところ

人間ではない。その一見規面居士の木田谷が如何なる理由で材木屋と云う山師に転向したかは知る由もないが花札などは得意の巻、酒でも飲めば酔者泣かせの遊い、歌舞伎の聲色ときいたら友人はだしと承るからさぞや奥さんは御苦勞の事と推察せざるを得ない

小名浜高校の高萩先生も酒呑みの始めは唐詩選なり、唐詩選中の「酒は酒の詩にあり」

程の爆笑を呼び起す至極下つてはソツと観客席からまなこを据えて、「そこで一、五秒言葉を一寸切らなくちゃ」と寸分も見逃がさぬ演出指導者ひらぎのぶお



| | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|---|---|--|
| 福島縣水産試験場 場長 菅野健一 | 福島縣小名浜港務所 所長 浜田正軌 | 小名浜港工事事務所 所長 伊藤甫 | 小名浜繊維商組合 | 小名浜飲料飲業組合 組合員 一同 | 朝日第二製氷工場 小名浜町黎明電二六九 | 小名浜鉄工協同組合 理事長 鈴木正雄 専任理事 小野吉雄 監事 大村治男、山口春吉、大村治男、山口春吉、大村治男、山口春吉 | 五左衛門酒造場 優等清酒 老一 草野道人 小名浜町本町電六二 |
| 小名濱實業組合 喜入屋 質店 門馬 質店 叶屋 質店 マルタ 質店 佐川 質店 カネマン 質店 | 小名濱遊技場組合 パール 遊技場 百万 遊技場 光 遊技場 センター 遊技場 カジノ 遊技場 丸井 遊技場 | 野島支店 小名濱町金屋前 | 野島履物店 小名浜町古港 製造販賣 會津桐下駄専門 | 長生堂藥局 皆様の健康に奉仕する 藥劑師 岡部卓司 小名浜町中島 電話三七〇番 | 野澤銘木店 銘木のデパート 銘木銘竹 小名浜町竹町 電話六五九番 | 目澤銘木店 皆様の店 小名浜町第二小前電二九七 小名濱藤越 小名濱町中島電五六一 | |
| 磐城貨物自動車 小名濱第一營業所 小名浜町西町電一九四 | 小名濱土地建物株式會社 社長 菅原勲 取締役社長 菅原勲 | 關彰商店小名濱支店 支店長 渡邊文彦 電話三六七番 出張所 江名電言中之作電器 | 公誠學館 高等商業簿記珠算專門學校 本館 福島縣小名浜町花畑 分館 福島縣田代町台町 分館 磐城町小名浜住吉泉町 | 吉田屋商會 店主 吉田基 小名浜町西町電話八九番 日本水産労働組合指定修理店 | 關彰商店泉支店 支店長 田代七郎 常務 鎌泉駅前 電話二二二番 | 松原時計店 小名浜町本町銀座 | |
| 正駒酒店 小名浜町古港 電話三一七番 | セトモノのデパート 渡邊セトモノ店 小名浜町西町電628 古港支店 | 丹清治 小名浜町古港 電話三三三番 | 松田屋 小名浜町中島 電話四二二番 | タカラヤ藥局 電話204 | 瑯建材店 小名浜町上明神町 電話五九二番 | | |

挙町の感激に廳舎落成式

見事な採光 町政殿堂

参会六百代表者に謝辭



併によつて大きく前進。最後の一步を踏み出さんとして今日、その任期を余すところ三旬の後に控えて、廳舎の新築は水野畢生の事業とも云ふ

現ナマ一萬圓也

泉の鈴木さん金的

小名濱歳末賣出しで

既報。小名濱町役場新築落成式は小春、和の三十日、迫り来る年のはじめに、関内代議士、小野大井川、平、議員をはじめ内外朝野の名士六百余氏が参席し午前十時新築會館に盛大な式典を挙げて新廳舎の完成と共に、躍進する小名濱町が祝福された

商店界販賣合戦、冬の陣。年々大賣出しは何處も同じ秋の夕暮れか、客集め、この先途を必至の模相さやまじく、桶孔の明の珍手名手の案出に大の態であつたが、この合戦、一躍目を集めて人氣をさらし、お金の前に黒山の入波を築かせたのは先ず小名濱町中島の商店会の現金一万圓總額り屏風であつたが、二十九日この特賞銀玉(屏風)なし現金(一萬圓)は泉町鈴木と名乗る御仁の射止めの市制施行も鹿島の合

新春無感

不二夫生

人間は地球の回轉三百六十五日を一とし、その第一日を一月一日と規定し、その意味からすれば一年中元且であり大晦日でもある

感涙新たなり

発行第五年の春

磐日社長 長瀬壽一



ら玉の瑞氣に再び浴し得たことは、私にとつて誠に大きな感動である。発行以来苦難の道を編み足す歳月は、或る時は孤軍奮斗の影を映し、或る時は自ら手摺住の鬼ともなつた

社中迎春記

大地に足を

森下ひろし

何か胸へおさめておきたい。だが、改めて書きたての程の抱負もない、新年というよりも過ぎ去つた一年が、いまも心に残り追憶に耽る。考へても仕方のない事である。アジャジャ、ペーパーと走り行きし日は、一体自分を何の様に育て、如何なる進歩があつたのだから重なる疑問に立ち塞がらる。抱負が抱負に終らないよ

短歌

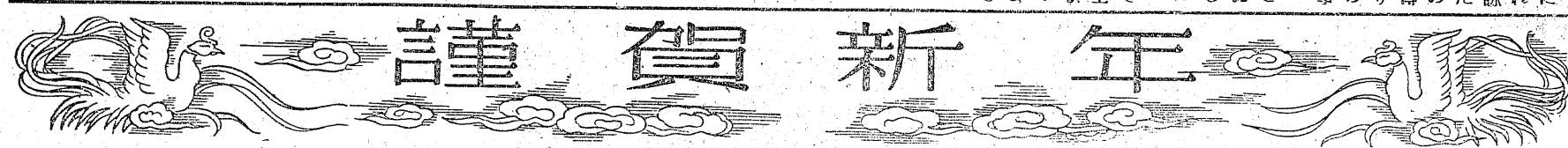
新春と呼ぶ名の悲劇

風 草二郎

天地にこころ昂ぶる何もなきに。曉のみは、わすかに愉し。はろばろとくろき海なり。見つめてをれば何か来る如し。生きては、生かす夢いまだ。

編集メモ

一九五四年元且を迎え、心氣新たなれば星景また自ら新なり。人間の生活は何時となく社会という名の中に秩序をつくり、秩序ある生活が社会を生み出した。今日これを懐古と見た、今日これを検討すれば自然科學と社會科學の平行線に無意に織り込まれた生活公路



| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---|--|---|--|--|--|
| 泉町役場 町長 三瓶 三三郎 助役 吉野 善一 収入役 草野 喜八 | 泉町議会 議長 江尻 重三 副議長 小林 重三 外議員 一岡 三 | 磐城通運株式会社泉支店 支店長 小林 重三 | 中之作機船底曳網漁業協同組合 組合長 理事 吉田 義 | 江名町金融團 | 湯本藝妓荘組合 電話(湯本)一〇四番 | 小名濱建設業協同組合 小名濱町水渠工場前 理事長 太田 武彦 理事 草野 道彦 前 澤 由五郎 作 山 安太郎 柳 内 庄八 監 小 原 松之助 事 吉 田 政一 | 紙と文具 ウエル 高級萬年筆 14K 500円 ダイヤ 100円 小 販 新興紙店 小名濱町 西 TEL 呼28U | | | |
| 石城郡連合PTA会 鐘町小学校PTA会長 | 金城源右衛門 粘土瓦製造販賣業 下 山 田 勇 植田町佐藤電話三〇四 | 飯塚マシンの商會 工場 植田町北台九電二六八 營業所 植田町本町電話二〇七 優良清酒 | 清福 鷺酒造店 植田町本町電話三 | 吉野材木店 植田町佐藤八反田 電話二一九ノ甲乙 | 油屋林産企業會社 理事長 常 馨 善 作 電話上遠野一四一甲 | 磐城冷凍製氷株式會社 社長 野 野 興三郎 小名濱工場電話三六六 | ホシ友醬油株式會社 取締役社長 星 友太郎 専務 星 明 電話(植)三四 | 土木建築請負 高橋組 高橋 民男 鐘 町 中 田 | 菊多運輸株式會社 代表取締役 赤津幸之亮 鐘 町 中 田 一三(植)二三九 | 星 初太郎商店 精米製粉製麵榨油味噌醬油 坑木砂利土産セメント瓦製材 鐘 町 江 栗 電(植)三〇六 |

「明るい治安確立期し」

ウマくやつてゆきたい

小名濱地区警察署長 鈴木龍之助



輝かしい希望に満ちた昭和二十九年の新春を皆さまとともに心から午の年は五穀豊穡で何事もウマくやつていける良い年だと申されて居ります。治安の保持に責任あるわれは、近年の目まぐるしい社会状況に對して、一方米價の昂騰による経済生活への脅威と人心

社一一般の落着きをまず希望する。今年こそは治安維持に明るくウマくやつて見たいと念願して止まない次第であります。昨二十八日は先ず天候の上からいって、我が國に大きな不安を興へた。六月末九州を襲った豪雨、七月、九月に近畿に上陸した台風、北海道、東北を訪れた冷害、東北を襲った大雪、六月中、発生した地震も、千件を超え七位である。この中には他に余り例をみない、特殊有る犯罪も含まれて、警察の立場からみると決して歓迎すべき現象ではないのであります。少ない警員で良くやつて来たと思ふ位であります。この際には小名濱治安協議会を始め各町村の防犯協力の絶大な協力をお願いいたします。今年も各種協力団体を始め地方自治の協力を得て治安の万全を期する覚悟であります。

治安の確保することは容易な業ではありません。今日の地道な警察の努力が延いて社会各層の文化活動に大きく寄与するを示したいものであります。

壯快極る古河のフナ釣り

二初日の出に躍る銀鱈

小浜町花畑 菅野 野生

小名濱へ来て七年、元の海釣を又ぞろ始めて二年に成るので当地の釣も一通り知る事が出来た。その結果夏秋にあればど盛んであつた釣が多くなる。とバツタリと途絶えて仕舞うのは誠に淋しい感じがする。

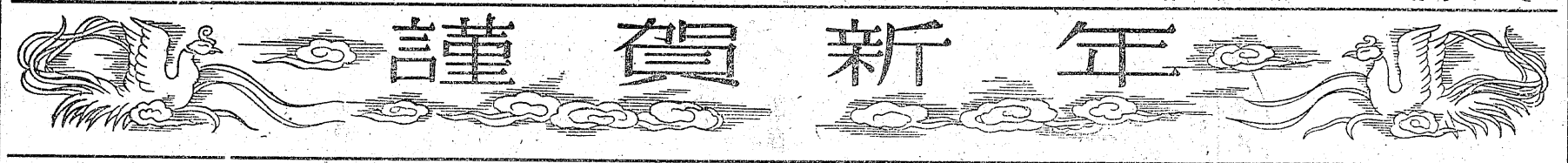
その原因は川釣りでは釣に適する川が少なく、又海釣りでは一般釣士に便な施設がないと云うような種々の原因があると思われ。

元日の釣の一つは房総沖の「墨いか釣り」外房大東岬の「すずき釣り」等何れも大晦日の晩に出掛ける。元日早朝に船出して御来光を拜みながらの楽しい釣である。

川の釣と言つて何んと言つても寒釣に止めを刺す。夜が白々と明けると、常磐線古河駅を降りると必ず釣士が十人か二十人位は相前後して降りて来る。これらは皆大小様々な竿を小次郎のように背斜め十字に背負つて、身仕度も厳重に(風邪をひかぬ様)足音も軽々と、昔風のドッシリと重い感じのする老舗の立並ぶ城下町をサツ／＼と急ぎ足に釣場へと急ぐのである。一キロ半も行くとは堤防に出る、その下が目的の釣場。良瀬川。川面上を蒸気が立ち、水面は白く包まれて川肌も見えない。岸に降りると船頭が「さあ、早くお早く」と岸に降りだ底の平たい「べか船」へ先着順に乗せてくれ、その日その日の船頭の判断で今日釣れるうな釣場へと急ぐ、釣場へ来る。と一ぱいづつ順に川の上流に下流に向つて座すのである。

ツリ士は我れ先きに竿を出し仕掛をつけるのもどかく仕掛をつけて静かに投げ込む。仕掛を打ち込んだら、前のこたつに足を入れ、毛布をかけて船の喰いを待たせようである。

初日の出並べた竿が



| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>小名濱みりん干加工業協同組合 組合長 小野利一 電話 82番</p> | <p>福島縣小名濱町字車人 小名濱運送kk 専務取締役 高橋幹夫 電話 106番</p> | <p>福島縣小名濱町林ノ上 日星製作所 所長 中崎 馨 電話 256番</p> | <p>小名濱臨港鉄道株式會社 取締役社長 浦田文二郎 常務取締役 木野 信一 総務部長 眞小野 信 電話 230・272番</p> |
| <p>紙と事務用品と洋書材料 文具のデパート 昭和堂文具店 小名濱町第一小前電六六九</p> | <p>素嗜しい風邪薬エスビレン錠 三粒のめば……OK ダルマ薬局 小名濱町本町電三三〇</p> | <p>靴と履物 山田屋 小名濱町電三〇七</p> | <p>福島縣小名濱港 興洋電気 高村 大五 電話四五七番</p> |
| <p>化粧品、果実、罐詰 柏屋食品店 小名濱町中島電五六二</p> | <p>工學圖書協會特約店 柏屋書店 小名濱町西町電六八四</p> | <p>三馬弘進ゴム靴、合羽、運動靴 小島ゴム店 小名濱町第一小前電三四〇</p> | <p>文房具、ポタン類、洋裁法用具 叶屋商店 草野 庄平 小名濱町電話四七番</p> |
| <p>東映、東寶、洋画封切館 キーンビ館 支配人 大石 昇 小名濱町本町電六七〇</p> | <p>平糶業合資会社 小名濱臨港貯蔵所 小島大造 電話四四番</p> | <p>牛豚鳥肉 味の食堂 鳥桂 小名濱町本町 電話四九八番</p> | <p>牛豚鳥肉 佐川肉店 小名濱町上横町 電話六四六番</p> |
| <p>牛豚鳥肉 中野肉店 小名濱町本町 電話二九八番</p> | <p>食肉一般 丸八精肉店 小名濱町本町 電話二二七番</p> | <p>牛豚鳥肉 味の食堂 鳥桂 小名濱町本町 電話四九八番</p> | <p>食肉一般 丸八精肉店 小名濱町本町 電話二二七番</p> |
| <p>日本冷蔵株式會社 小名濱工場 工場長 内田 正男</p> | <p>小名濱埠頭株式會社 専務取締役 石津 晤一 小名濱港</p> | <p>船具 會社 鹽屋商店 代表社員 小野 寿夫 福島縣小名濱港</p> | <p>株式会社 村山榮次商店 小名濱工場 電話小名濱四七三 大津二八・二二七</p> |
| <p>福島縣小名濱町愛宕下 小名濱中央青果市場 電話二八六番</p> | <p>船具一式・マニラロープ・塗料 小名濱水産株式會社 取締役社長 水野政次郎</p> | <p>小名濱旅館組合 むさし屋 錦盛館 福田屋 山 大 萬里莊 なるこ 新米 小 滝 吉田屋 若葉館 ハトバ莊 三 樂 啓濱館 玉 屋</p> | <p>りん干製造 日東物産商會 安川 市郎 小名濱町古港 電話四四〇・四四一</p> |

斬捨て御免 ①

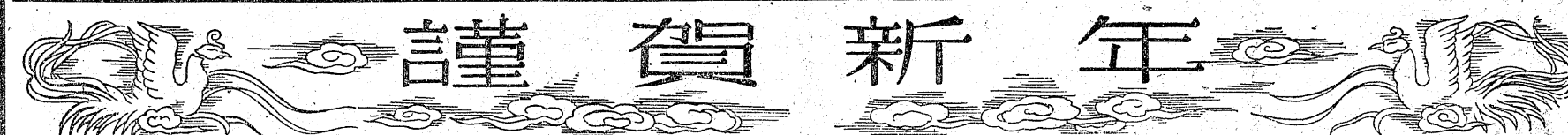
醉狂 童子

不肖醉狂童子、磐城日日紙の好意に甘ませ、醉狂と嘲笑され、拙文卑論と知りながら厚顔無恥の思ひ言わず腹のふくらむを苦に書き續けて既に半年、新年を迎えて更に意を新らたに筆を執りたいと考えているものであります。倍々、一九五四年の小名浜町を中心とした石城地方の状況を観するに焦点は先づ一月二十一日を予定される小名浜町長選挙三月迄に推選を余儀なくされている小名浜、泉、渡邊、更江、豊岡町を含めた四町一ヶ村の合併による市制施行にあると推考するのであります。年頭の際にはこの二点を論ずるべく先づ町長選挙であるが、これが実に奇々怪々、選挙告示も未だ確定せざるに既に立候補者は確定し、その運動は龍虎相つづ熾烈さを以て展開されていると云うのが偽らざる現状である。

五四年頭の決意

二今日なくして明日に今日なし二

目的は名譽欲と金欲である。彼らの費す五百万は單なる投資に過ぎず彼らのその欲する利潤を生ましむるものは國民の町民の税金である。本年の小名浜町の置かれる重要性、小名浜町の發展する否かは本年に發する事を見るが如く歴然たる事は論外の理である。然れば然る程、斯くの如く背德致義漢に対しては憤激を禁じ得ないものである。



| | | | | | | | |
|--|---|---|---|--------------------------|-----------------------------|---|---------------|
| 湯本町教育委員会 委員長 鈴木 芳彦 副委員長 木村 進一 委員 大塚 隆夫 委員 深井 幸夫 委員 澤田 幸三 委員 益利 中進 委員 定雄 春一 | 植田町教育委員会 委員長 小野 保 副委員長 野田 武 委員 高木 一 委員 野田 武 委員 好政 一 委員 子郎 保量 | 錦町教育委員会 委員長 赤津 千里 副委員長 佐久間 清 委員 藤原 正保 委員 波厚 山國 委員 國重 治一 | 常磐炭礦株式會社 磐城礦業所 所長 林 田 満 | 植田營林署 署長 百瀬美佐雄 | 植田土木監督所 所長 山野目惣次郎 | 勿來町公民館 館長 石井 定衛 主事 阿部 聰山 書記 小島 秀雄 | 湯本町校長會 |
|--|---|---|---|--------------------------|-----------------------------|---|---------------|

| | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|---|---|-------------------------------|---|---|--|---|
| 石城郡小中學校校長會 第一支會 菊多 校長會 | 石城郡小中學校校長會 第二支會 支會長 水野 武 | 磐城通運株式會社湯本支店 支店長 佐藤 亦一 電話三八番 | 磐城通運株式會社植田支店 支店長 北郷 徳助 支店代理 坂本 喜 | 福島縣濱通運組合植田支部 電話二〇七番 | 大協石油株式會社特約店 五十嵐商店 植田給油所 所長 田代 喜七郎 植田町新國道一〇五 | お料理を美味しくいただける!! 安島醸造元 製造販賣 K 社長 安島 峯二 電話(勿)一九番 | 株式會社植田魚菜市場 取締役社長 黒木 喜二 専務 萩野 賢治 | 一月一日、二月、三月、四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、開きよい!! うえた館 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|---|---|-------------------------------|---|---|--|---|

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---|---------------------------------------|
| 湯本郵便局 局長 土田 盛 | 湯本電報電話局 局長 加藤 健治 | 植田郵便局 局長 星 克夫 | 植田町農業協同組合 組合長 高木 一郎 | 錦町農業協同組合 組合長 齋 清章 | 山田村農業協同組合 組合長 小野 順平 | 勿來町農業協同組合 組合長 横山 太一 | 内田屋菓子司 小川 信夫 植田町本町電三六 | 春木屋旅館 白鳥温泉 電話(湯)二四番 | 喜樂屋旅館 白鳥温泉 電話(湯)三三番 | 渡重商店 渡 辺 重三郎 植田町電一〇 | 大森組 土木建築請負 社長 森 雄 植田町電三五〇 | 中根砂利店 中 根 覺 衛 植田町金畑二七電二七 |
|-------------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---|---------------------------------------|

| | | | | | | | | |
|---|--|---------------------------|----------------------------|------------------------------|---|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 湯本町金融團 東邦銀行植田支店 東邦銀行勿來支店 大東相互銀行植田支店 植田 信用 金庫 福島相互銀行植田支店 常陽銀行植田支店 | 菊多地區金融團 東邦銀行植田支店 東邦銀行勿來支店 大東相互銀行植田支店 植田 信用 金庫 福島相互銀行植田支店 常陽銀行植田支店 | 植田町商工會 會長 安島 利景 | 植田町專門店會 會長 安島 利景 | 湯本温泉旅館組合 組合長 鈴木 康平 | 愛國炭礦礦業所 所長 中 根 昇 礦業所 川部 村北 大作 電話(勿)四五番 營業所 勿來町 電話(勿)一七二二〇番 | 植田町消防團 團長 齋 文治 副團長 坂本 喜 | 錦町消防團 團長 小野 金男 副團長 門馬 孜一 | 平地區米穀卸賣協同組合 植田 營業所 電話二六七番 |
|---|--|---------------------------|----------------------------|------------------------------|---|--------------------------------------|---------------------------------------|--|

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|----------------------------|
| 湯本地區 建設業親和會 會長 小野 辰藏 顧問 長谷川 常吉 波邊 長作 | 山形建設工業株式會社 山 形 昇 勿來町 關田 田 電話一四〇番 | 勿來木材工業株式會社 取締役社長 金成 正二 勿來町字通六 | 磐城造林株式會社 社長 赤津 庄兵衛 專務 高橋 貞一 電話(勿)一九番 | 大木組 大 木 光 男 山田村大林字大津 電話植田二三〇番 | 植田建築工務所 植田 武治 植田町瀧川二七 電話二五八番 | 金成土建株式會社 社長 金 成 泰三 錦町中田電一七二 | 錦興業株式會社 社長 佐久間 清 |
|--|--|--|--|---|--|--|----------------------------|